



井上さん企画の浜益中学校生徒との雪板体験

「わかもん会の活動で大切にしていることは？」

渡辺 堅苦しい会議にはしないようにしています。会に誘うときも「飲み会に來なよー」みたいに。

山本 その言えはすぐ集まるから。イベントよりも集まるんじゃないかな？(笑)

渡辺 わかもん会では仲間から「こういうことをしたい」と出てきた意見を否定しません。仮に失敗してもいいんです。それも経験だよな、と言って取り組んでいます。

——7人の新人が加入したとのこと。どのように勧誘したのですか？

徳地 会ったとき。

山本 たまたま会ったとき(笑)。

徳地 だって、こんな狭いまちだもの。どっかで会ったって！

山本 会わないことがまずないから(笑)。会おうと思えば会える環境が浜益にはあるんです！

「かなりアツイです！」



最後に、今後の抱負を。

徳地 若い子たちにどんどん好きなこと、やりたいことをやってほしい。「こういうことがやりたい」と言ってきたら、絶対ダメとは言わないので。

井上 だったらぜひ雪板を！2月に浜益中学校で実施し、大好評だったので。

徳地 雪板？ スノーボードみたいなもの…？ それは山に歩いて登るのかな？(笑)。

坂本 スノーモービルでコースづくりとか？

井上 いいですね〜♪ ぜひお願いします！

山本 そうそう。浜益って、本当にやろうと思ったら何でもできるんだって。僕らが子どもの頃には、スキー少年団もあつたんだから。昔は摺鉢山で、少年団がスキーを滑っていたんだよ。歩くスキーもあつたし。摺鉢山の上にあがつて…。

井上 自分で山を登るんですか…？ それはキツイ(苦笑)。

渡辺 こんなふう自主的に考えて動いてくれる若い子が増えたらいいですよね。そして、子どもたちが「浜益の子ども時代は楽しかった」と振り返られるようなことを続けたい。今の子には浜益への郷土愛がすごくある。私はここから出たいと思っていた世代だから、そういう思いを大切にしたい。

井上さん



「浜益の魅力はこ〜れくらいかな♪」



山本さん

山本 僕も漁師も忙しい！

徳地 ちょうど米とサケの時期にかぶるんだよなあ…アハハ！

渡辺 やるぞー！って気合を入れて取り組まない。

山本 「浜益ふるさと祭り」くらい人を呼んで、「浜益っていい所だね」って思ってもらいたい。それでたくさんの人に移住してもらって、過疎化をくい止めない。

坂本 感動して泣きそうになった。そこまで考えていたんだ！

山本 そうだよ！ みんな笑っているけれど、浜益をブランド化して、多くの方に浜益を知ってもらおう。そういう活動の中心にわかもん会がなれたらいいよね。

「浜益わかもん会にど〜んとおまかせを!!」



坂本さん

坂本 わかもん会は「終わらない学園祭」をやっている団体だと思っています。僕は農家で、一生ここで過すんです。だから、わかもん会の人たちがクラスメートみたい。そういう人たちと1年を通じてスポーツだ、イベントだといって集まる環境は、ほかにはないんじゃないかな？ 少なくとも異業種ではないと思う。この楽しさを、僕は浜益に帰ってきた人たちにも伝えたい。素晴らしい団体になるよう、これからも上の方々と共に精進していきます！

全員 偉い、よく言った！（一同拍手）



ハロウィンパーティー

浜益方言クイズ④ 「あー、かっぱがる、ぎっちりつかまってれや〜」



「ぎっちり」は「しっかり」の意味だギョ!

浜益 150年の歴史 (ダイジェスト)

明治 5	1872	戸長役場を茂生村に創設
明治 34	1901	茂生村に浜益尋常高等小学校新築
明治 37	1904	浜益・滝川間道路を開削
明治 40	1907	1級町村制施行
大正 8	1919	浜益郷社、大暴風雪のため倒壊
昭和 37	1962	冬期間、初めて滝川までバスが運行
昭和 47	1972	札幌～浜益間の直通バスが運行
昭和 56	1981	千代志別～雄冬間の完成により一般国道231号が全線開通
昭和 58	1983	第1回ふるさと祭りを開催
昭和 63	1988	浜益村保養センター(浜益温泉)が完成
平成 2	1990	暑寒別道立自然公園が暑寒別天売焼尻国定公園に昇格
平成 3	1991	ふるさと創生資金を活用した生涯学習拠点「ふるさと塾」が完成
平成 11	1999	当別・厚田・浜益の3農協が合併、北石狩農業協同組合となり、浜益支所が置かれる
平成 12	2000	「ふれあいセンターきらり」(現浜益コミセン「きらり」)がオープン
平成 16	2004	石狩・厚田・浜益の3漁協が合併、石狩湾漁業協同組合となる
平成 17	2005	浜益村閉村。新石狩市誕生
平成 21	2009	こがねやま 黄金山が国の名勝指定を受ける
平成 30	2018	浜益神社例大祭で半世紀ぶりに神輿担ぎが復活 増毛山道と濃昼山道が北海道遺産に認定
令和 3	2021	浜益150年記念遊具完成式典を開催



まちには、万延元年に建設された庄内藩の本陣屋跡や、明治32年に建てられた白鳥家の鯉番屋(現はまます郷土資料館)などが残され、先人たちの思いや知恵、技術を今に伝えます。

* * *

開基150年を記念し、浜益中央公園には遊具が設置され、10月13日に完成式典が行われました。
式典には、保育園児と小・中学生、計60人の子どもたちも参加。浜益中学校2年生の木村有紀奈さんが代表して感謝の言葉を述べ、記念撮影後にはおそろいの「浜益パーカ」に身を包んだ子どもたちがさっそく遊具に駆け寄り、青空の下に楽しげな歓声を響かせました。

問 浜益支所地域振興課 ☎79・2111

高齢化や人口減少が進む中、「コミュニティ」や仕事の維持すら困難になる現実を前に、浜益の若者たちは「未来のために、自分たちが動かなければならない」と危機意識を持っていました。その危機意識こそ、浜益の伝統・文化の上に育まれてきた彼らの郷土愛にほかなりません。

150年を経て育まれてきた 若者たちの郷土愛

陸路の険しさから、かつては「陸の孤島」と呼ばれた時代もありました。そうした苦勞も乗り越え、受け継がれてきた浜益の伝統・文化は、平成17年10月1日に石狩市・厚田村と合併し、石狩市浜益区となった今も人々の中に息づいています。

浜益方言クイズの答え

- ①魚釣りに行って、水にはまってしまった
- ②騒いで、つまずいて転んで、頭を打った
- ③りんごを食べたいので、ちょっと包丁を取ってください
- ④あー、びっくりかえる、しっかりつかまっています